

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	福祉会館低圧受電切替事業				会計	款	項目	大	小
					03	01	04	01	58
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）			主管課	社会福祉課			
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり			主管課長	矢口 道夫			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	福祉会館利用者	意図	福祉会館を最適な状態で使用してもらう。
事業内容	高圧で受電している電気を低圧受電に切り替えて、経費の削減を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	高圧で電気を受電している施設のうち、平成24年度のESCO事業により空調機をガスヒートポンプエアコンに切り替えたことにより電気使用量が減少し、低圧による受電が可能となったため低圧受電への切り替えを行い経費の削減を図るもの			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	電気料金の削減（向小金）	904	789	809	
②	電気料金の削減（赤城）	1,008	801	777	千円	↓↓↓	切替時期：平成26年12月
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	電気設備の法定点検が不要となった。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・平成26年度低圧受電が可能な施設（向小金、赤城福祉会館）の低圧受電への切替を行った。		
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				3,142,527			
事業費(b)(円)				2,451,600			
うち一般財源				2,451,600			
職員給与費(c)(円)				690,927			
人役・職員(人)				0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	向小金福祉会館、赤城福祉会館の受電を高圧受電から低圧受電に切り替える。	③取り組みの課題	高圧で受電している施設のうち低圧受電に切り替えが可能な施設を調べる。
②今年度(H26)に実施した取り組み	向小金福祉会館、赤城福祉会館の低圧受電切替工事が完了した。（100%）	④今後の改善計画	平成28年度流山福祉会館の低圧受電切替を行う。